

平成23年9月20日

千葉県生涯大学校卒業生平成23年度学習会 講演要旨

NPOアジア植林友好協会

代表理事 宮崎 林司

講演テーマ：人類を救う森づくり～子供たちの未来のために今あなたのできる事～

私たち人間の活動が、地球の生態系～地球のエコシステム～を破壊し続けてきた結果、自然の復元力を損ない、地球規模の様々な自然災害が世界各地で頻発しています。現代文明の繁栄の一方で大気汚染、海洋汚染、オゾンホール破壊などさまざまな環境劣化を招き次世代へのつげを残そうとしています。

◆自然からの警告

地球温暖化問題が世界的なテーマとして取り上げられてきましたが、人類全体で取り組むべきこの課題に解決策を見いだすに至っていません。この最大の負の遺産は二酸化炭素をはじめとする大気汚染物質による地球の気温上昇という側面のみが大きく取り上げられていますが、私たちの人間活動による「地球規模の森林の破壊」によって引き起こされている「大気と水の循環の劣化」こそが大きな問題だといえます。この結果が今日の気候変動、自然災害の増加、そして地球温暖化です。

「地球規模の森林の減少」により、水と大気循環が異変を起し、猛暑や熱帯夜の増加、台風の巨大化、雪や水不足のほか豪雨、洪水、干ばつなど気象災害をもたらしています。

環境への適応能力の低い動物や植物はどんどん絶滅して、生物の多様性がどんどん失われています。

今、地球上で起こっていることはわたしたち人間の現代文明に対する「自然からの警告」です。

◆気候変動と人類文明崩壊の危機

この大きな気候変動の結果、農業や漁業、林業など自然由来の産業におおきな影響を与えます。

人類がこの地球上で生き続けるために必要不可欠な、空気《酸素》、水、食糧そしてエネルギーの安定的な供給に大きな影響を与えています。

現在でも10億人を超える人たちが飢餓状態にありますが、今後さらに食糧不足と飢餓の蔓延という事態に向かってゆきます。

地球環境に私たちの人間活動の負荷を測る学問「エコロジカル フットプリント」から推定しますと現在でも、人間活動が生態系の負担能力を約40%超えています。

今後この状態が進めば僅か63ヶ月でティッピングポイントに達してしまいます。

この状態が続けば食糧とエネルギー不足が深刻になり、地域や国間で奪い合いの争いが起こると予想されています。

一方で2020年には森林が消滅するという予測があり、原油供給も2040年ごろには枯渇するという予測があります。

◆イースター島の悲劇と現代文明の崩壊

過去の文明はすべて、森林が無くなって滅ぶということを歴史的に繰り返してきました。

今日の地球をモアイの石像で有名なイースター島文明崩壊の歴史と重ね合わせてみますと大変危機的で深刻な状況であるわかります。

イースター島に数十家族が渡り住んでから、人口が増え文明が発達しました。同時に自然破壊が進んで、森林が無くなり、土壌が不安定になり、農作物が採れなくなり食糧危機に陥りました。

飢餓が広がり、内戦が続くついに人が人を食べるような状況になって滅んでしまいました。

森林が無くなり、カヌーをつくる木材がなく島から出ることもかなわずに魚も取れなかったのです。

この状況が現在の地球にたとえられるのは、イースター島が絶海の孤島だったことと、現在私たちは地球を超えてどこかに支援を求められないということが同じだからです。

#### ◆過去の文明の学ぶ

現在の人類社会とイースター島の類似性は、島一つが全てだったことと現在、私たちは国際貿易、ジェット機などの交通、インターネットという通信手段の進歩グローバル化が進んで、地球が一つになっています。国境も地域も超えて資源と意識の共有が進んでいて逃げ場がないという事です。

地域や国という概念を超えて、地球市民としての発想が必要であり、次世代の資源を食いつぶすことのないようにする～世代を超えた問題～です。

自分だけ良ければとか、日本だけ良ければとか、経済的に満たされれば良いとかの価値観だけではこの困難を乗り越えることはできません。そして、人間だけ良ければという考えでは不可能です。

自然の生態系を再生して持続的な保全を、地球市民みんなで行動するという価値観が不可欠です。

#### ◆樹木や森の働きを理解する

人間だけでなく全ての生物は、植物の光合成により活かされているという根本的なことを理解することが必要です。この事実は経済中心社会のなかで注意を払われなかったために「無尽蔵で無料」と錯覚をして利用してきました。

食物連鎖やエネルギーの4つ科学原則からも明らかなのに、あまり価値を置いてこなかった結果が生態系の破壊につながって、現在に厳しい自然環境を招いています。

地下資源を活用する限り、ゴミと廃熱と二酸化炭素などでいっぱいになってしまいます。

地下資源を利用しない社会の構築をしない限り、持続的な社会づくりは不可能です。持続可能な社会では全て『土地』から生み出されます。食糧、エネルギー、再生可能な原料物質、遺伝子資源、安全安心の住居など全てが「森林」からです。なかでも、熱帯雨林は地球の生態系システムの根幹的な存在です。

#### ◆地球規模の植林で人類の未来を拓く

「環境」は私たち人間とは別にあるものではなく、わたしたち人間を含む地球上のあらゆる生物でつくられている一つの「地球規模のエコシステムという織物」と一体をなすものです。

この事態に適応できる持続可能な社会づくりには、「**植林による地球規模の森林の再生**」が不可欠です。

自然災害や地球温暖化は止められませんが、次世代の子供たちが少しでも住みやすい地球環境を維持するための「**植林をして緑豊かな地球を次世代に残す**」ことはできます。

地球市民として、世界中で植林をする事で、様々な気象災害を緩和し、温暖化の進行を緩やかにして、人類が適応しやすい状態で変化させることができます。これまでの価値観の社会では、認識は低い存在ですが、**森林は人類が地球上で生きてゆくために必要な酸素や水を安定的に供給し、土壌を安定させて食料の安定した供給、大気の浄化や生物多様性の維持、安全な住環境の提供など様々な役割を果たし、生命を育てています。**森林資源の中でも一番貴重で危機的な状況の熱帯雨林を保護再生することが「人類の生命の持続」にとって不可欠です。それは、熱帯雨林はバイオマス資源を生み出す力でも、生物多様性を維持する力でも地球上で一番だからです。

「みんなで人類の持続可能な社会づくりのための森林の保護と再生のための植林を進めましょう。」

「森のない地球に人類の未来はない」

この歴史的な時代に、生き、人類の**新たな文明の創造のため、地球市民として、次世代のために、今すぐ共に行動に移しましょう！**

～あなたが変われば世界が変わる～

今、あなたにできることは、地球を緑でつつむこと！